

教材教具展 ～小学部～

<ねらい>

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|---------|
| ① 目と手の協応 | ② 絵の理解 | ③ 単語の理解 | ④ 文字の理解 | ⑤ 概念の形成 |
| ⑥ 文の理解 | ⑦ 手指の巧緻性 | ⑧ 視空間の理解 | ⑨ 構成 | ⑩ 数の理解 |
| ⑪ 視覚記憶 | ⑫ 用途の理解 | ⑬ 色の理解 | ⑭ 図と字の弁別 | ⑮ その他 |



★自立活動★ ①⑦⑮

・マッチング、手指の巧緻性、集中力の向上をねらいとしている。また、子ども達の好きなキャラクターを使用し楽しめるようにしている。



★自立活動★ ①⑦⑧

・指先やトングを使ってサボテンの穴の中にモールを入れたり取ったりすることで、手指の巧緻性を高める。



★国語★ ③④⑥

・イラスト、文字カードを組み合わせて2語文を作り、正しい助詞の使い方を学習する。



★自立活動★ ①⑦

・指先を使ってつまんだり、両手を使ったりする学習に使っている。ヘアゴムを使って伸びる感覚も感じられるようにした。



★自立活動★ ②⑫

・子ども達の好きな食べ物でお店屋さんごっこの教材を作成した。見本の絵を見て、ハンバーガー作れるよう、それぞれの具材を分けた。注文された品物におぼんに貼って、お客さんに渡す。



★自立活動★ ⑦⑬

・マジックテープをはがすことで、手指の巧緻性を高める。はがしたテープを同じ色同士でくっつけることで色のマッチングとしても使うことができる。



★自立活動★ ①⑦

・線を書く練習で使っている。マグネットの向きや組み合わせで、たて・よこ・ななめの線も書くことができる。



★自立活動★ ①⑦⑧

・ケースから1つずつ指を使って引き抜く。3種の違う形と、場所によって引き抜くために使用する指や力の入れ方の工夫が必要。



★国語★ ②③

・一音節の単語の絵と文字カードをマッチングさせる。



★自立活動★ ①⑦⑪⑬

・指示書を見て同じ形を作成する。結合部分が固いため、手指の力を高めることができる。



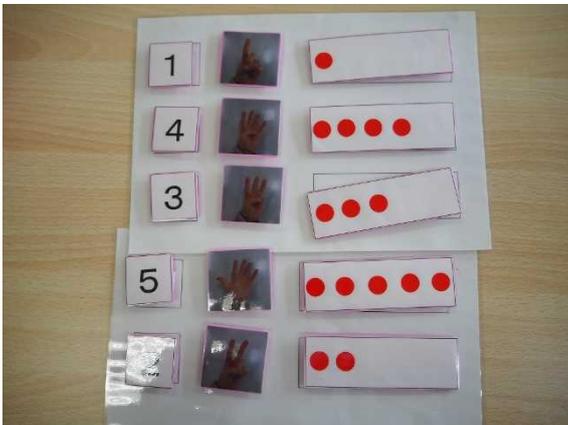
★算数★ ④⑩

・数字と印を合わせる。数字を並べ替えて使うこともできる。



★算数★ ①⑦⑬

・色の弁別をしながらプットインすることで、目と手の協応を養う。



★算数★ ②④⑩

・数字と数量、指数と数字、数字と指数と数量など、児童の実態に応じて使用する。



★算数★ ①⑦⑩

・1～5までの数字の横にあるマジックテープに赤いシールを貼る。



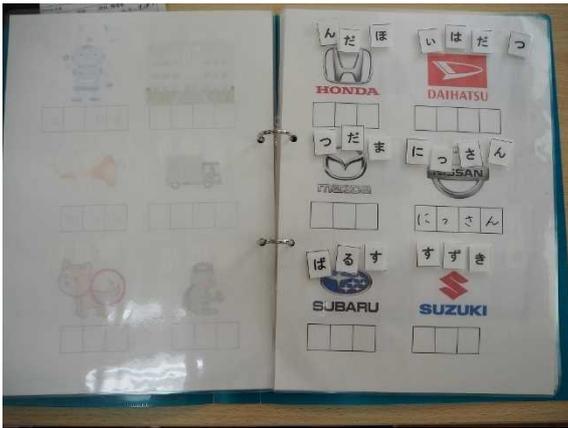
★自立活動★ ②③⑫⑮

・イラストを指で押すと、イラストが示す音が鳴る。発語がない、喃語で話す児童がコミュニケーション手段の一つとして活用している。



★算数★ ②⑤⑦

・模型を同じ絵カードのある箱の上に乗せる。箱の中に子どもが好きなものを入れておき、子ども自身が箱を開けて正解を確かめる。



★国語★ ②③

・促音、濁音、半濁音を含む単語で作成した。平仮名チップを並べ替え、正しい単語を作る。ファイル形式になっているため、児童一人でも進めることができる。



★自立活動★ ⑦⑬

・紐の先に布でできたタグをつけることで、指先でつまんで引っ張る力をつけられるようにした。様々な音が出るものを紐の先につけることで意欲的に取り組むことができる。



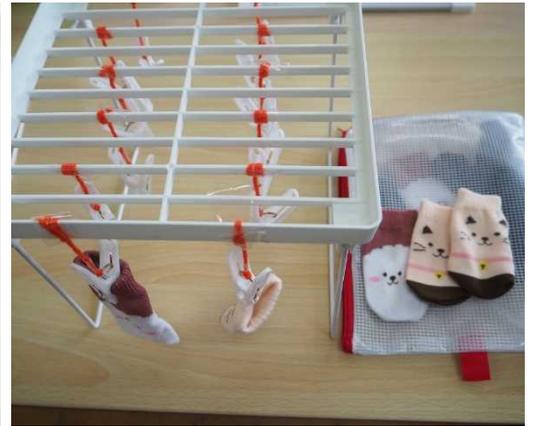
★自立活動★ ①⑧

・目と手の協応、追視、用途はさまざま。腕を伸ばしたり両手を使ったりしてほしかったため大きなものを作った。緑のふたを外し、脚を付けるとプットインに、ふたをつけると迷路になる。



★算数★ ⑩

・数の合成、分解の学習に使用している。下の枠の数字カードに合った数のブロックを置き、実際にブロックを動かして合わせ、答えを上枠に入れる。



★自立活動★ ②③⑫

〈 割り箸の袋入れ・部品の組み立て 〉

〈 靴下ばさみ 〉

・ホワイトボードに課題〈割り箸の袋入れ・部品の組み立て・靴下ばさみ〉の順番を貼り、自分でそれ見ながら、課題を準備して取り組む。課題がおわったら、先生に報告する。最後に課題の写真カードの横に「できました」カードを貼る。